

えちぜん鉄道交通圏地域公共交通計画（概要版）

福井市・勝山市・あわら市・坂井市・永平寺町・大野市

1. 計画期間 令和4年度から令和8年度まで（5年間）

2. 基本方針

えちぜん鉄道交通圏の成り立ちや社会基盤整備の状況を十分に踏まえ、沿線都市の地域拠点(核)をえちぜん鉄道で結ぶ「多核連携によるネットワーク型のコンパクトシティ」により、移動の利便性が高く、クルマに頼り過ぎなくても暮らしやすいまちづくりや、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくりを目指します。

3. 目指すべき公共交通の将来像と将来像実現のための4つの目標

えちぜん鉄道を幹線交通として、路線バスやコミュニティバス等との連携による地域公共交通のネットワークの強化によって移動の利便性が高く、車に頼り過ぎなくても暮らしやすいまちづくりや、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくりを目指します。

目指すべき公共交通の将来像
「車と比べても『選ばれる移動手段』になる」

- 目標1 地域の交通として利用したくなる公共交通の実現
- 目標2 安全・安心に利用できる公共交通の実現
- 目標3 車に頼り過ぎないまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現
- 目標4 住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現

4. 目標達成のための施策体系

目標1 地域の交通として利用したくなる公共交通の実現

利用環境の向上	駅施設の整備改善、新しい生活様式への対応、運賃支払いの効率化（キャッシュレス化、MaaS導入）
駅やバス停へのアクセス向上	フィーダー交通の整備、持続可能な運送サービスの提供
交通機関の乗り継ぎ利便性向上	列車運行の改善

目標2 安全・安心に利用できる公共交通の実現

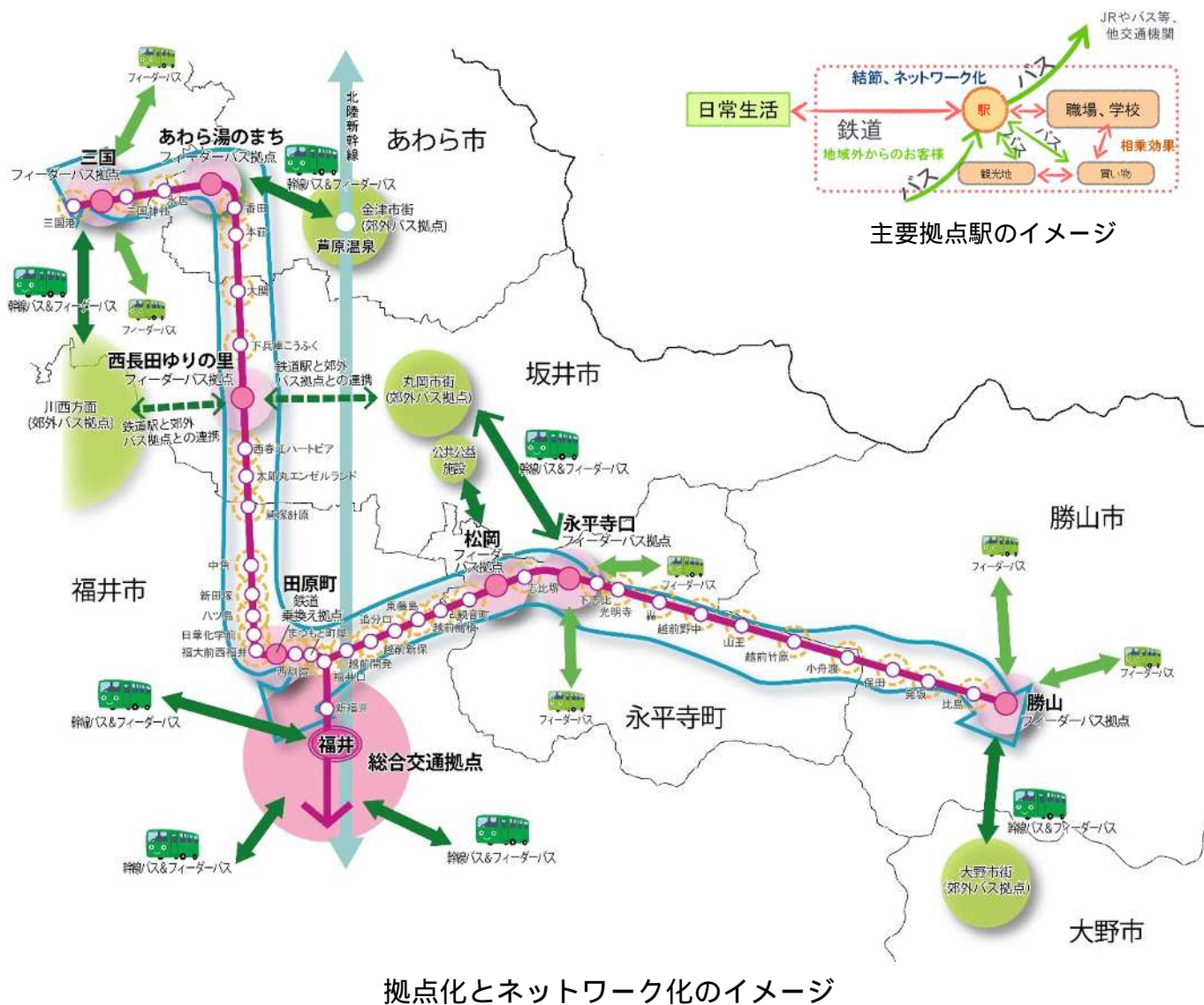
安心・安全を支える鉄道施設づくり	鉄道施設の維持、大規模災害への対応、経営強化に向けた取り組み
信頼できる運行を支える鉄道施設づくり	大雪に備えた除雪体制の構築
バス路線の維持	バス路線維持への行政支援

目標3 車に頼り過ぎないまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現

駅を核としたまちづくり	駅周辺への都市機能集約、駅周辺の土地利用誘導
観光・地域活性化施策との連携	観光列車の導入、県外観光誘客の利用促進
情報発信の連携・強化	駅・車内での観光情報発信

目標4 住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現

乗る運動・利用促進	自治体による利用促進、沿線事業所への利用働きかけ
地域住民との連携	サポータークラブの強化、地域とのネットワークの構築



拠点化とネットワーク化のイメージ